

基本的な介護の方法 (介護職の役割や介護の専門)

特別養護老人ホーム 砧ホーム

介護主任 板垣 紘子

自己紹介

経歴：

古川商業高等学校（現在 古川学園）

日立製作所 半導体事業部（日立ヴェルフィーユ）

東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科

社会福祉法人 友愛十字会

砧ホーム入職（勤続16年目） 介護主任...2年目

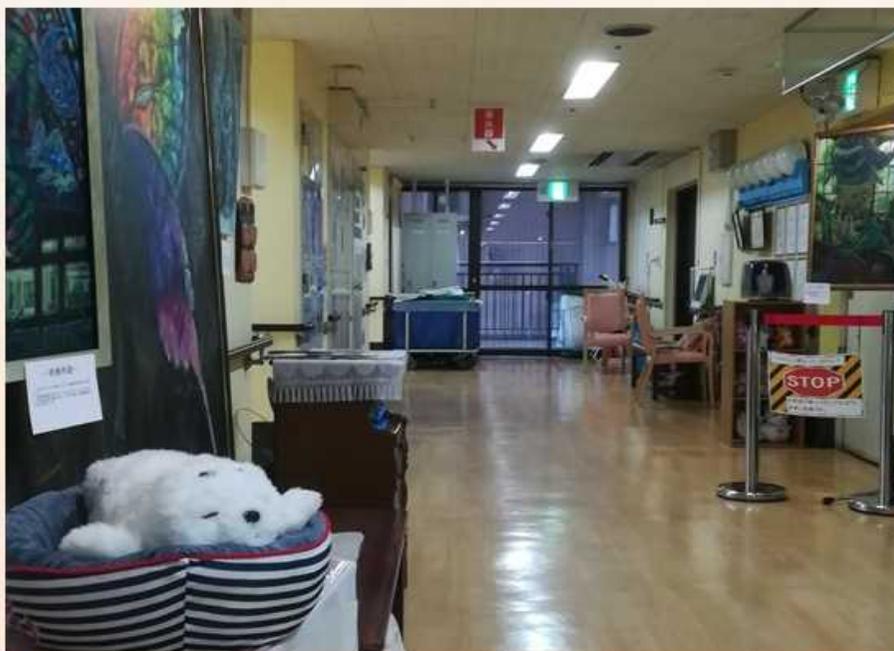
社会福祉法人 友愛十字会

特別養護老人ホーム

きぬた
砧ホーム



ゆうあいくん



砧ホームの概要



平成4年開設

従来型特養

入所定員60名

ショートステイ
4名

東京都世田谷区砧3丁目9番11号

介護のイメージって？

介護業界の現状

介護業界を取り巻く課題

介護関係職種の有効求人倍率と完全失業率



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況(平成30年9月分)について」、
総務省統計局「労働力調査」より大和総研作成

何を指すべきか？

未来への扉

未来への扉

- 少人数で、質の高いサービス
- 長く働ける職場環境の整備

明るい未来を切り開く！

介護職の役割と専門性を学ぼう

介護職における倫理とは？

日本介護福祉士会 倫理綱領より

- ① 利用者本位・自立支援
- ② 専門的サービスの提供
- ③ プライバシーの保護
- ④ 総合的サービスの提供と積極的な連携、協力
- ⑤ 利用者ニーズの代弁
- ⑥ 地域福祉の推進
- ⑦ 後継者の育成

砧ホームの取組

砧ホームの取組

- ① 見守り支援機器の導入
- ② ICTの導入
- ③ 装着型移乗介護ロボットの導入

① 見守り支援機器の導入

センサー内蔵型ベッドの導入

旧型
センサー

身体を動かす
身体の一部が
床に接地

新型
センサー

動き出し
起き上がり
端座位
離床

設定の
選択肢が
拡大

① 見守り支援機器の導入

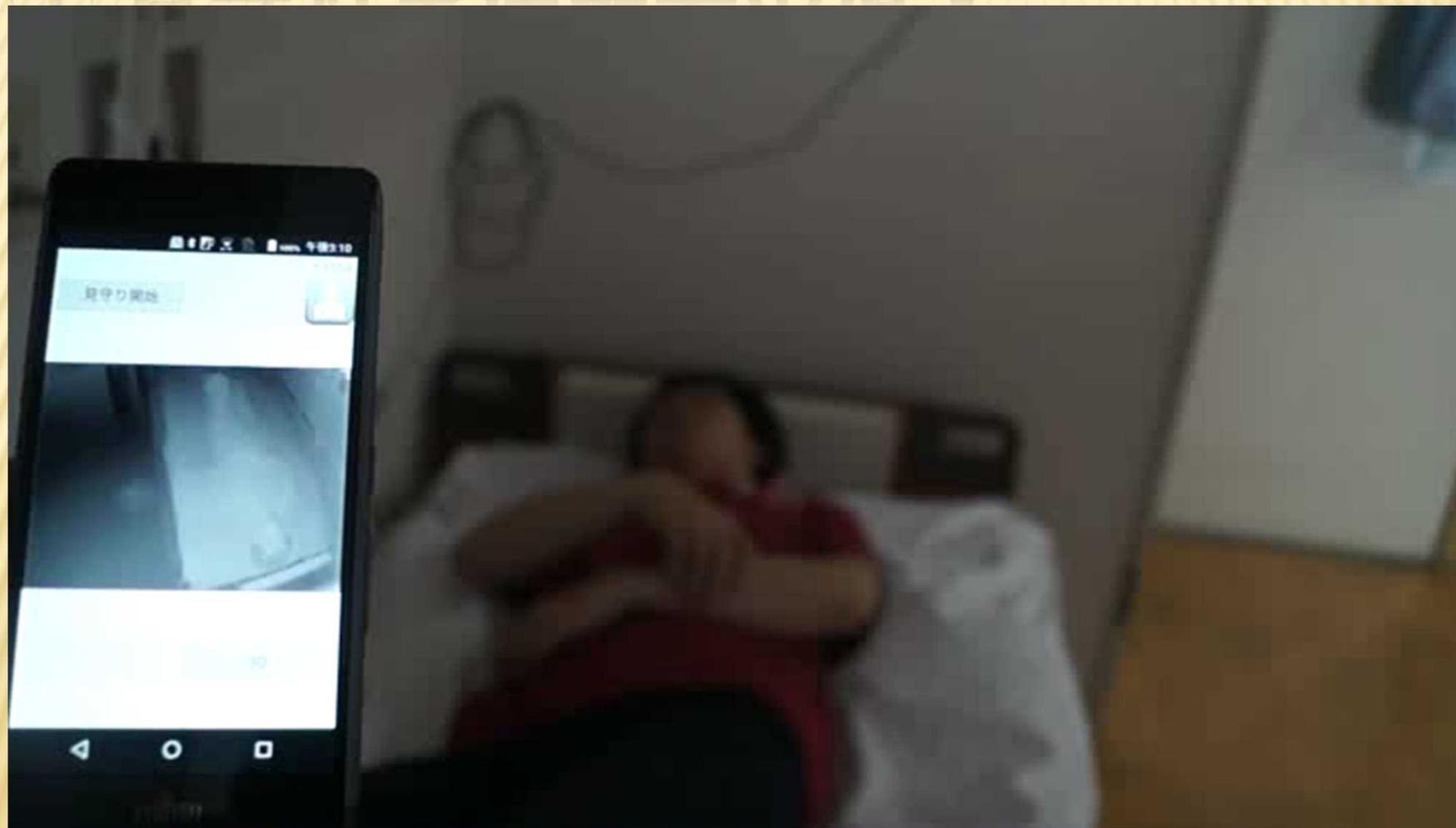
シルエットセンサの導入

- タブレット端末でセンサ反応時の様子を確認
- センサ反応時の前後の様子を動画で確認



※監視機器ではありません

① 見守り支援機器の導入



職員によるデモンストレーション

① 見守り支援機器の導入

- 利用者のADLに合わせた見守りが可能
- 利用者の状態をその場で確認できる
- 万が一の事故にも適切な対応が可能に

安全・効率化を両立

② ICTの導入

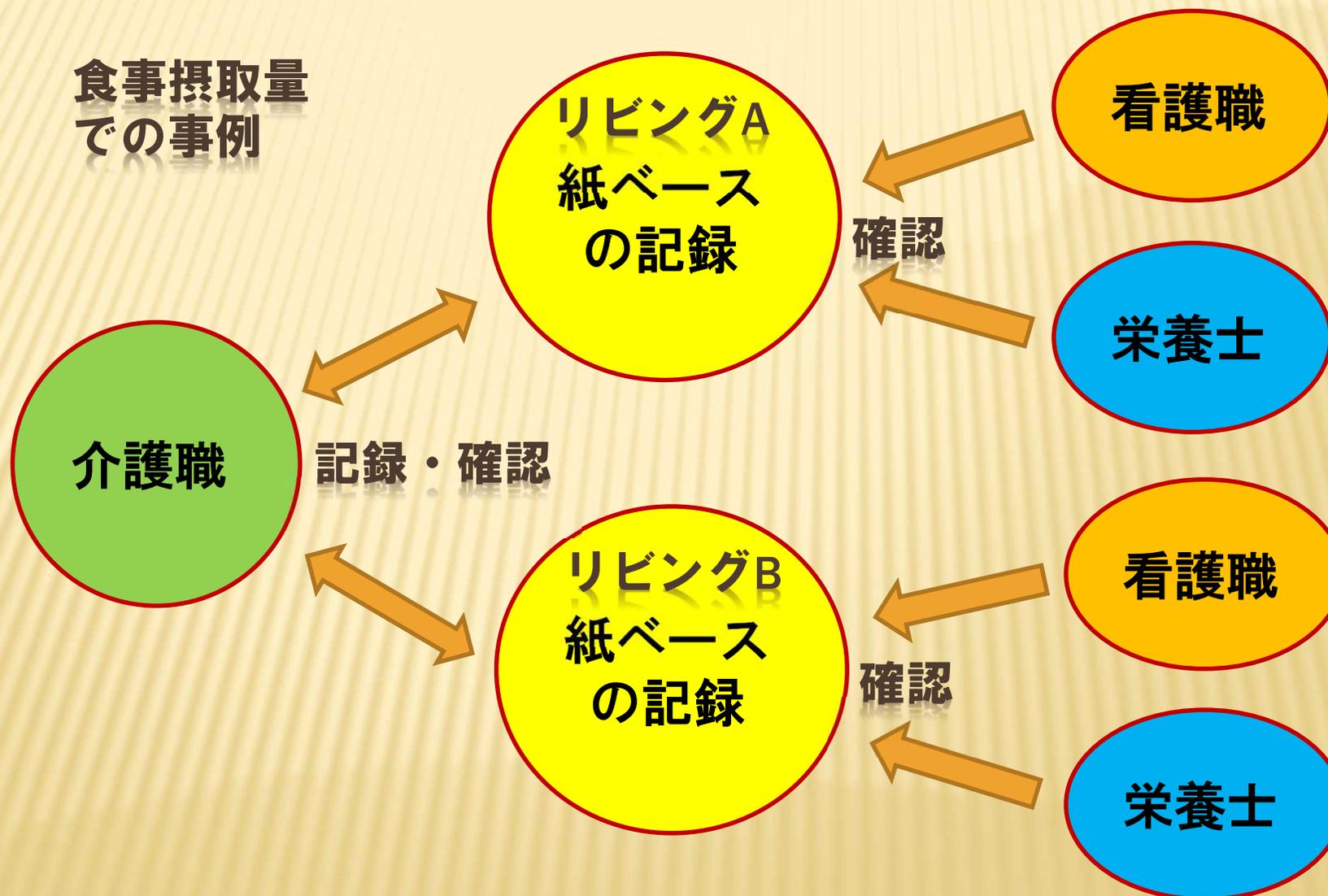
情報の収集・共有が簡単

紙の記録からタブレットを使用したデータ管理へ移行



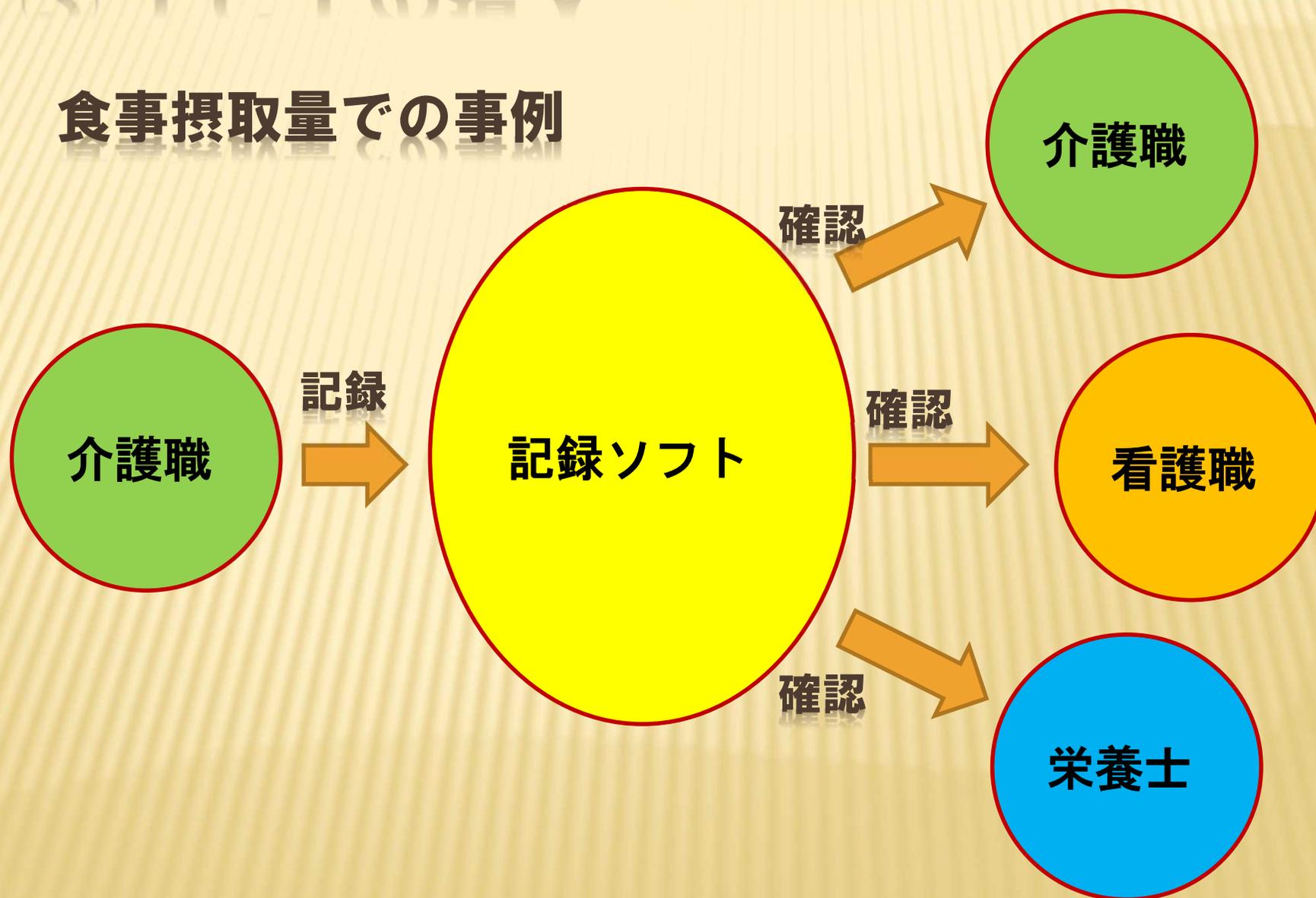
② ICTの導入

食事摂取量
での事例



② ICTの導入

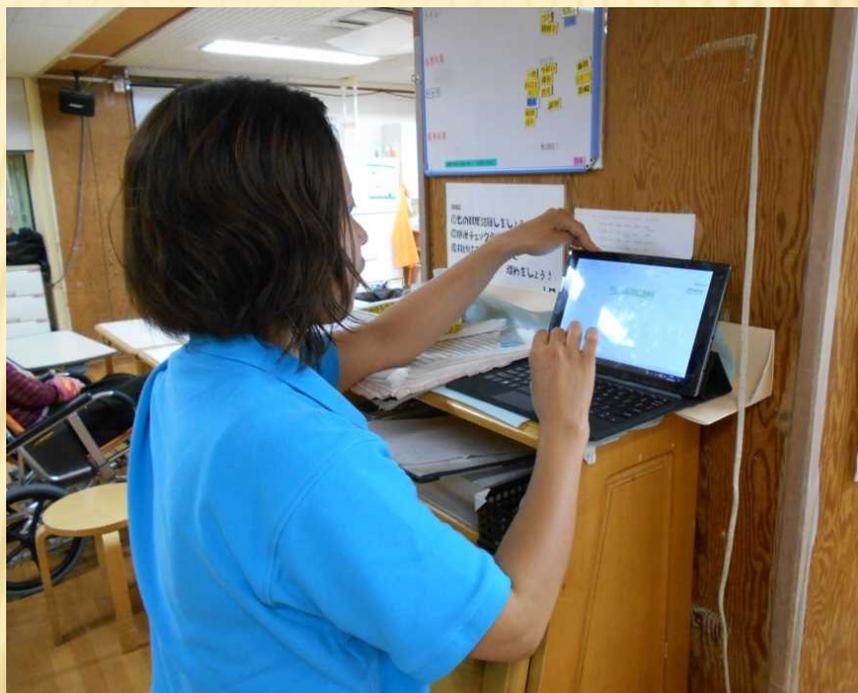
食事摂取量での事例



② ICTの導入

情報の収集・共有が簡単

動画や写真による情報共有が簡単



業務の円滑化を実現

② ICTの導入

情報の収集・共有が簡単



業務の円滑化を実現

③ 装着型移乗介護ロボットの導入

前掲姿勢での作業をサポート

腰の負担を大幅軽減

職員の腰を守る



その他にも・・・

持ち上げない介護

移乗用リフト



その他にも・・・

持ち上げない介護

移乗用ボード



その他にも・・・

持ち上げない介護

移乗用ボード



その他にも・・・

持ち上げない介護

マルチポジションベッド

動画①

その他にも . . .



その他にも . . .



その他にも・・・



マッスルスーツを活用した 砧ホームの介護スタイル

動画②

導入した結果

職員のスキル向上

- 最先端の道具を使いこなす、知識と技術の獲得
- 道具を使いやすくするための「考える力」の獲得

「創造する力」が扉を開く

3K時代

きつい
汚い
危険



「7K」時代

希望 期待
感謝 感動
感激 可能性
研究開発

介護職の専門性

介護福祉士としての役割とは？

介護福祉士に求められる「専門性」とは？

求められる介護福祉士像

テキスト：P30

介護過程のプロセス

参考資料：ICFに基づくアセスメントの視点例

介護過程とは？

利用者の生活上の課題解決に向けて取り組むプロセス

「できること」「できないこと」「望んでいること」
等を把握し、状態に応じた計画的で科学的なプロセス
を経て決定する

人としてあたりまえの日常生活を送るうえで、生活上
の困難、支障を抱えている人の生活課題を解決するた
めに取り組む科学的活動のプロセス

介護過程プロセスとは？

生活状態を知る（アセスメント）



生活上の課題を明確にする



介護目標設定、支援内容・方法を立案
（介護過程の立案）



介護計画に基づく介護を実践する



介護の実施の成果を評価する



評価の結果によって・・・再アセスメント

アセスメントの視点

アセスメントは利用者の膨大な情報から必要な情報を選び、解釈する必要があります。

何の手がかりもないまま単に情報を眺めていても、その情報の何をどの方向から考えると良いのかわからなくなる事があります。

その際に役立つのが3つの視点になります。この視点で考える事で利用者の生活課題が導き出しやすくなります。

アセスメントの視点

① 自立の視点

自立の視点の考え方は、利用者の持てる力を最大限発揮しつつ『生活の活性化』が図られているかを探る視点になります。

具体的には生活の営みの中で持てる力を発揮できているか、持てる力を発揮する上で、支障・困難な状況はないか、適切な福祉用具の活用ができているか、事故の意思表示ができる状況にあるか、等について該当する情報から解釈をします。

アセスメントの視点

②快適の視点

快適の支援の考え方は、身体的・心理的な苦痛がなく、1人の人間として尊厳を保持した『生活の継続性』が図られているかについて探る視点です。

具体的には、プライバシーや自尊心が保持されているか、これまでの生活スタイルや価値観が維持されているか、パワーレス状態を招く状況はないか、等について該当する情報から解釈をします。

アセスメントの視点

③安全の視点

安全の視点の考え方は『身体的・心理的・環境的な安全や安心が確保されているか』について探る視点です。

具体的には、生命の状態を悪化させている原因や二次的に悪化を招きそうな状況の有無はどうか、生活を営む中でリスクマネジメントを必要とする状況の有無はどうか、等について該当する情報から解釈をします。

アセスメントの視点

【自立の視点】

- ・ 生活の営みの中で利用者が持てる力を発揮できているか
- ・ 持てる力を発揮する上で支障・困難な状態はないか
- ・ 適切な福祉用具の活用ができているか
- ・ 自己の意思表示ができる状況にあるか

【快適の視点】

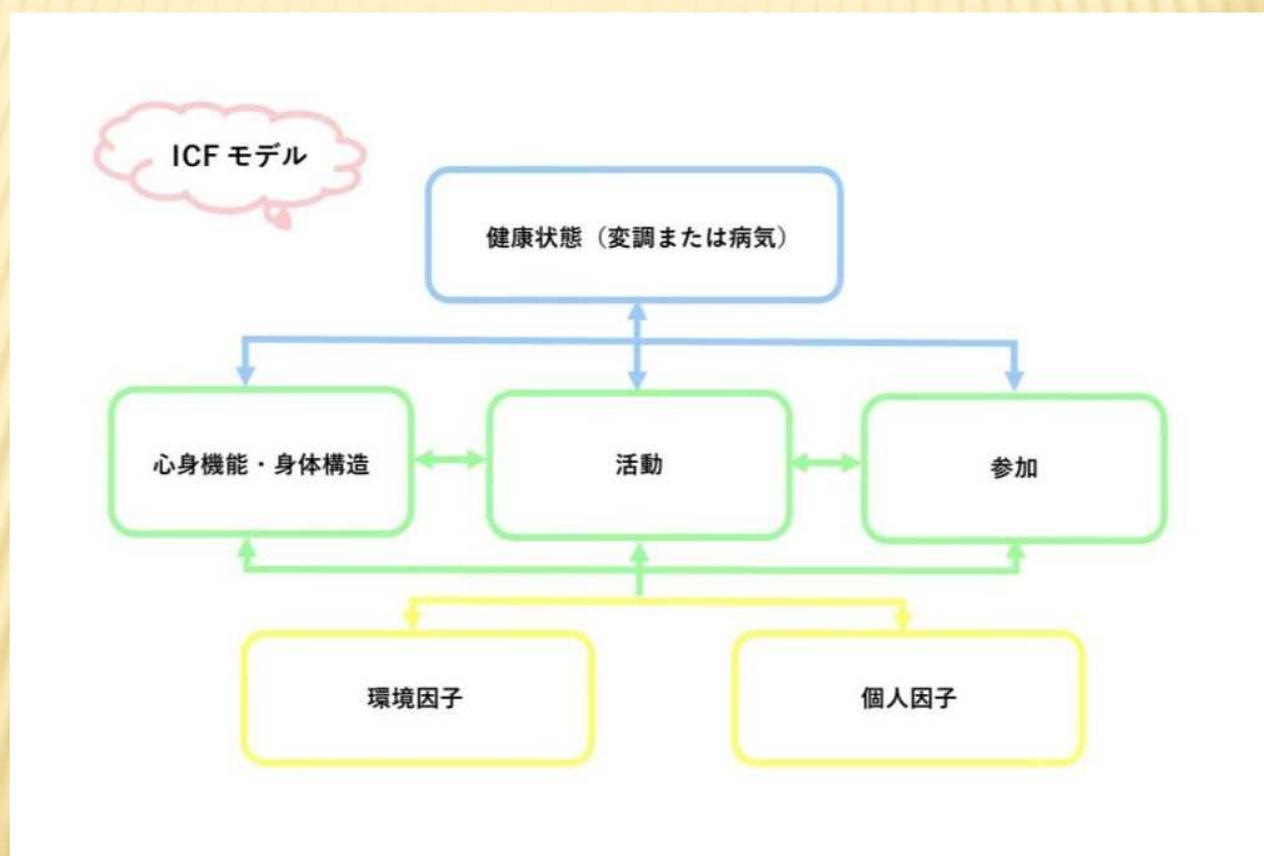
- ・ プライバシーや自尊心が保持されているか
- ・ これまでの生活スタイルや価値観が維持されているか
- ・ パワーレス状態を招く状況はないか

【安全の視点】

- ・ 生命の状態を悪化させている原因や二次的に悪化を招きそうな状況の有無はどうか
- ・ 生活を営む中でリスクマネジメントを必要とする状況の有無はどうか

ICF（国際生活分類）

生きることの全体像についての世界共通言語



実例 Aさん

アセスメントシートを見てみましょう！

資料 ②・③

スキルアップ

勉強会・研修開催

職員の専門性の向上

勉強会（研修）テーマ	教育責任者
感染予防①研修：実技確認	医務
看取りケア①	介護
事故防止① 講義	相談
介護保険制度	相談/ケアマネ
BCP（災害）研修	介護
感染予防②研修	医務
口腔衛生に係る技術的指導及び助言	口腔ケアWG
看取りケア②	医務
事故防止② KYT	安全衛生
褥瘡勉強会（外部講師）	機能/栄養
感染予防③：実技訓練①	医務
身体拘束①	身体拘束禁止委員
口腔衛生に係る技術的指導及び助言	口腔ケアWG
虐待防止（サービスマナー含む）①	虐待防止委員
BCP（災害）訓練	介護
BCP（感染）研修	医務/介護
BCP（感染）訓練（実技訓練②）	医務/介護
ICF	ICFWG
ハラスメント	ハラスメント防止委員
食事ケア	栄養
身体拘束②	身体拘束禁止委員
プレゼンテーション勉強会（発表会）	
虐待防止②	虐待防止委員

介護の魅力（まとめ）

これか介護福祉士を目指す方へ

質疑・応答

ありがとうございました

砧ホーム

板垣 紘子